

令和7年度第三者評価 改善状況報告書

令和8年3月31日

施設名	港区立芝高齢者在宅サービスセンター(通所介護)	施設所管課	保健福祉支援部 高齢者支援課
所在地	港区芝3-24-5	指定管理者	医療法人財団 湖聖会

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業体の場合記入)	令和8年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和8年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
事業所が存在する複合施設は、地域の福祉避難所としての指定も受けているが、実際に避難所として受け入れる事態に備えての準備に不安がある。その状況を想定したシミュレーションをもとに研修や訓練を行ったり、地域や隣接するホテルなどの防災訓練への参加など今後検討していく必要がある。地域の中でお互いに「助けて」の信号が出せるような関係づくりが望まれる。		3月に芝消防団の方々にご協力をいただき、避難訓練を実施した。また、福祉避難所開設を想定し職員間でテントの設置訓練を実施した。	引き続き、町会や地域の方々へ消防訓練実施の周知徹底を行い、訓練参加の啓蒙を行うとともに、福祉避難所開設訓練も計画的に実施する。	防災体制については、消防団の協力による避難訓練や福祉避難所開設を想定したテント設置訓練を実施しており、改善に向けた具体的な取組が進められていることを確認した。今後は、町会や地域住民への周知を図り、訓練参加を促進するなど、地域との連携を一層強化するとともに、実効性の高い体制整備が望まれる。
施設が求める人材を確保するため、法人による職員の新規採用や計画的な中途採用も行われている。また、施設が求める職員の職責やキャリアパスは、職員行動指針・個人目標管理シート・キャリアラダー・介護職員チェックリスト等に明示され、職種別・階層別の研修計画に基づき職員の人材育成計画が策定され、職員の経験年数に応じた資格取得支援など人材マネジメントが行われている。今後、職員ひとり一人の意向や経験等が記載された個人目標管理シートに基づく研修受講や施設面談の充実を図ることにより、職員のスキル育成の更なる向上が望まれる。		年度の途中での個人目標設定、達成具合、評価へつなげることが難しいと判断し、個人目標管理シートの作成には至らなかったが、研修への参加や施設面談の充実を図り、職員のスキル向上に努めた。	年度開始時に法人の事業計画、施設の事業目標を職員に周知し、個人目標管理シートの作成につなげ、定期面談による上期、下期での達成確認、評価を実施する。	研修・面談の充実により一定の人材育成は図られている。今後は、年度当初から個人目標管理シートの作成と定期面談を確実に実施し、目標設定・達成確認・評価を一体的に運用することで、職員の育成効果の更なる向上が望まれる。
施設運営に必要な情報の収集・利用・保管・廃棄の規程等は、港区のルールを遵守すると共に全職員への研修等により周知している。また、個人情報の取扱いは、港区個人情報保護方針に基づき、全職員から誓約書への署名を義務付けている。収集した情報は重要性や機密性を踏まえ、データ情報はPCのID・PWによるアクセス制限、紙情報は施錠付き書棚で保管し、情報漏えい防止を図っている。今後はさらに、介護サービス情報の一元化により、介護職員の介護サービス情報入力削減による介護職員の職務負担を軽減していくことが望まれる。		介護情報記録を現状どのようにしているのか見直し、重複している内容、記録の必要性のない内容等を確認、精査し、次年度に介護情報記録の入力内容削減につなげられるよう努めた。	紙媒体やデータ入力での介護情報記録や入力内容を、必要最小限とすることで、職務負担軽減に努める。また、更なる職務負担減となるよう、介護記録システムの導入を検討する。	記録内容の精査による業務効率化への取組は評価できる。今後は、記録の標準化・一元化を進めるとともに、介護記録システムの導入も含め、職員の負担軽減と業務効率の一層の向上が望まれる。